

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【公表番号】特表 2018-514664 (P2018-514664A)

【公表日】平成 30 年 6 月 7 日 (2018.6.7)

【年通号数】公開・登録公報 2018-021

【出願番号】特願 2018-512501 (P2018-512501)

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/03 (2006.01)

D 0 6 M 13/188 (2006.01)

D 0 6 M 13/02 (2006.01)

D 0 6 M 15/643 (2006.01)

D 0 6 M 15/576 (2006.01)

D 0 6 M 15/277 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 M 15/03

D 0 6 M 13/188

D 0 6 M 13/02

D 0 6 M 15/643

D 0 6 M 15/576

D 0 6 M 15/277

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

布地に濡れ性を付与するための方法であって、

アルキルポリグルコシド (A P G) の溶液と第 4 族金属塩の溶液を併用し、

前記第 4 族金属塩が、チタン、ジルコニウムまたはハフニウムからなる群より選択される金属の塩であり、且つ酢酸塩、アセチルアセトネート、アクリル酸塩または乳酸塩からなる群より選択されるカルボン酸の塩であることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記アルキルポリグルコシドが、式 $(C_6H_{10}O_5)_n$ (式中、 n は少なくとも 1 である) で表される親水性端部と、炭素数 4 ~ 20 のアルキル基からなる疎水性端部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 4 族金属塩が酢酸ジルコニウムである請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 4 族金属塩が撥水処理剤の一部を形成している請求項 1 ~ 3 の何れかに記載の方法。

【請求項 5】

前記撥水処理剤が、ワックス、シリコーン、ステアリン酸、メラミン系化合物、反応性ポリウレタン、デンドリマー化合物、及び疎水性アルキル鎖フッ化化合物からなる群より選択される請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

布地に濡れ性または再濡れ性を付与するための製造方法であって、
アルキルポリグルコシド（ＡＰＧ）の溶液と第４族金属塩の溶液を併用し、布地を１００未満の低温で乾燥することを特徴とし、
前記第４族金属塩が、チタン、ジルコニウムまたはハフニウムからなる群より選択される金属の塩であり、且つ酢酸塩、アセチルアセトネート、アクリル酸塩または乳酸塩からなる群より選択されるカルボン酸の塩である製造方法。

【請求項 7】

前記アルキルポリグルコシドの溶液及び前記第４族金属塩の溶液を同時に用いて前記布地を処理する請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

前記アルキルポリグルコシドの溶液での処理の後、且つ前記第４族金属塩の溶液での処理の前に、前記布地を１００以下の低温で乾燥する請求項6に記載の方法。

【請求項 9】

前記第４族金属塩の溶液での処理の後に、前記布地を、１００～１６０で乾燥する請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記アルキルポリグルコシドの溶液での処理の際に染料を併用し、且つ前記第４族金属塩が撥水处理剤の一部を形成している請求項8または9に記載の方法。